

伊豆一周ウォーキング報告書

文・写真 後藤

と き 2020. 06. 10 (水) 晴れ・高温・湿度少
コース 富士IC6:00ー長泉6:20ー土肥一堂ヶ島一波勝崎入口発8:38ー高通山登山
口8:59ーバスー雲見霊廟9:17ー三浦(さんぽ)歩道ー三競(さんきょう)展望
台9:39ー石部(いしぶ)10:31ーバスー一堂ヶ島(昼食)11:00~12:0
0ーバスー安良里(あらし)12:10ー恋人岬手前15:00ー長泉16:30
歩 数 約20000
距 離 約14km
参 加 15名

久し振りに伊豆で快歩・快汗

2020・6月度伊豆ウォーキング。コロナで4・5月は休講。3ヶ月ぶりのウォーキング。天気は良かった。曇りを期待したが良すぎた。

今年度のウォーキングは、順打ちでなく、花などが良い場所・季節を歩いている。従って、歩いた所は、飛び飛び。それをつなぐべく、波勝崎入り口から高通山登山口に向けてスタート。



R136



雲見・烏帽子山(162m)

20分ほどで登山口着。これで熱海～下田～雲見がつながった。バスで雲見霊廟に移動。ここから三浦（さんぽ）歩道に入る。暑い日だったが、山は案外いい風で涼しい。大汗をかき、ひと上りで三競（さんきょう）展望台着。素晴らしい展望。海・山・空が広がる。この時期には珍しく、富士山がうっすら顔を見せている。テラスで記念撮影。



三競展望台（肉眼では、富士山が見える）



石部集落



石部浜

踵を返し、石部（いしぶ）に下る。ただ、石部側の道は荒れていた。グズグズの湿地とガラガラの

岩場がつづく。それでも何とか下山。集落のババさまとジジさまと会話。ババさまは友人宅に向かっていた。ジジさまは、炎天下で畑仕事。しかし、耳が遠く年齢を聞いたが会話が進まなかった。バスで石部を後にし、堂ヶ島に向かった。ちょうど11時。ここで1時間昼食。おみやげ屋のババさまが5～6人たむろ。お客がまったくないので、無聊（ぶりょう）をかこっている。堂ヶ島のババさまは、聞けば「海女」といった。堂ヶ島周辺で「潜るところがある？」と聞いたら、「ある」だった。歳は私より10歳多かった。やや肥満だが顔はツヤツヤで若い。海の恩恵だろうか。というか、毎日こんな風に仲間とワイワイやっていれば歳はとらないか。（`艸`）



昼食風景

午後は、再びバスで安良里（あらし）に移動。出発してすぐ、眼下の三四郎島を覗くと、「トンボロ」が完璧に出ていた。

・・・三四郎島は、沖あい200メートルほどのところにある伝兵衛島・中ノ島・沖ノ瀬島・高島からなる4つの島で、見る角度により3つに見えたり、4つに見えたりすることからこう呼ばれている。また、干潮時には一番手前の伝兵衛島まで瀬が現れ足をぬらさずに歩いてわたることができます。この現象のことを「トンボロ」（イタリア語）と言い、日本でも大変珍しい現象があります。・・・ネット

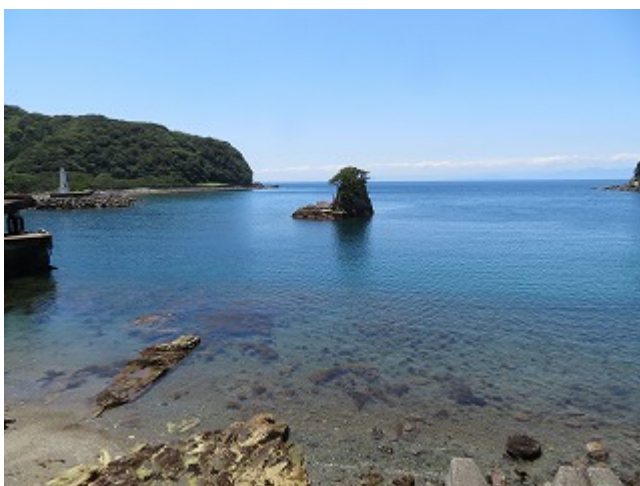
安良里から午後の歩き。以前、港には、加山雄三のクルーザーが停泊していたが、火災で焼失した。ま、人生必ずしも良いことだけではなさそうだが、ひょっとして船事故で亡くなっていたかもしれ

ないと思えば、それも救われる。

町には、有名な「こあじ鮎」がある。ちょっと小ぶりのアジを乗せた鮎だがネギ・ショウガが利いて美味しい。だが、ウオーク・巡礼実施の水曜日は定休日で、久しく食していない。港では、船を借りても潜りに行くオジサンがいた。仲間と嬉しそうだった。



アクアラングのオジサン



黄金崎トンネル



抹茶ソフト



バニラとイチゴ??

R136に戻り、黄金崎トンネルに入る。1kmと長い。3・11以降節電で中は暗い。加えて大型車が通ると風圧が怖い。大型が来たら止まったほうがよい。トンネルを抜ければ黄金崎。なかなかイイところ。海がサイコーにキレイ。無料休憩所があり三種類のソフトクリームが売っている。皆さんペロペロ。休憩後、展望台に上る。暑いが、ここも見事な海・空・山が広がる。



黄金崎



展望台



海岸道

記念撮影後、浜に降りて浜道をたどり、再びR136に戻った。その時、何故か町の散水車が来て私たちが歩いている、カンカン照りの道路に「散水を施してくれた」えええ〜!!!、これって「お接待?」。お陰で道路の温度が下がり涼しかった。

午後の炎天下の下、恋人岬を目指す。しかし、15:00になったので、無理をせず終了。バスは冷房で快適。土肥・松原公園で休憩し「足湯」に入った。温度が45度くらいで熱かった。でも刺激的でグッド。今回も「完全燃焼」のウォーキングでした。



黄金崎展望台

